

造影検査 説明書

造影 CT 検査を受けられる方へ

●検査説明

今回実施する検査は**造影剤**という薬を注射して行う予定です。造影剤は体の内部を観察するものです。血管内に造影剤を投与することによって、あなたの病気の状態をより正確に評価し、今後の治療に役立てます。造影剤を使用しなくても検査はできますが、より正確な診断を行うためには造影剤が必要です。但し、造影部位や検査目的によっては造影剤が必須となりますのでご了解ください。

●造影剤を使用するにあたり

造影剤は副作用の少ないものが開発され安全な薬ですが、まれに副作用が起こることがあります。以下の既往がある方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強く出る場合もあり、造影検査を行わないことがありますので、必ず問診票の記入をお願いします。

- *今までに造影剤やヨード過敏症によって具合が悪くなったことがある方
- *気管支喘息などのアレルギー歴のある方
- *他の薬剤過敏症やじん麻疹などのアレルギー歴のある方
- *重篤な腎障害のある方

●主な副作用について

副作用の種類は次のようなものです。

*軽い副作用

吐き気、かゆみ、くしゃみ、咳、咽喉頭(のど)違和感、動悸、頭痛、発疹などです。造影剤投与直後に現れることが多いですが、検査後、約1週間の中に現れることもあります。このような副作用の起こる**確率は約5%**です。

*重い副作用

呼吸困難、ショック、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院の上での治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があり、その**確率は約2万5千人に1人**です。病状・体質によっては様々な処置を行っても**死亡**することがあり、その**確率は約40万人に1人**であるという報告があります。

*造影剤注入時

造影剤注入時は**体が熱くなる**ことがあります。直接の反応であり心配ありません。勢いよく造影剤を注入するために、**血管外に造影剤が漏れる**場合があります。この場合、注射部位が腫れて痛みを伴うことがあります。基本的には時間が経てば吸収されますが、漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要になることもあります。

当院では造影検査中、常に患者の状態を観察しており何か異常が現れた場合には直ちに投与を中止し、医師、看護師が適切な処置をいたします。もし、**異常だと感じたらずぐにお伝えください。**

その他、検査について不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

受付時間：月～金(8:30～17:15)、土曜日(8:30～12:30)

〒710-0826 倉敷市老松町4丁目3-38

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 ☎086-427-1111

放射線部受付(直通) ☎086-427-1194